

情報工学府博士前期課程先端情報工学専攻
教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）

（１）知識・理解

【高度な専門知識・理解】

情報技術の発展に有用な先端的基盤技術を開発するための情報科学・情報工学とその応用領域に関して、知能情報工学又は電子情報工学のいずれかの専門分野において研究・開発・問題解決等を実現するための能力を修得させる教育を実施する。

【工学・技術と社会関連知識・理解】

情報科学・情報工学の先端的基盤技術が社会で果たす役割を理解できるようにするための教育を実施する。

（２）汎用的技能

【高度な実践的問題解決スキル】

実践的な問題解決能力を有し、研究開発に必要な情報科学・情報工学の先端的基盤技術を修得させる教育を実施する。

【高度なプレゼンテーション力】・【コミュニケーション力】

情報科学・情報工学の先端的基盤技術の研究開発に必要なプレゼンテーション能力及び外国語によるコミュニケーション能力を身につけさせるための教育を実施する。

（３）態度・志向性

【技術者の態度・志向】・【自律性】・【チームワーク力】

未知の専門的課題に対して、情報科学・情報工学の先端的基盤技術を用いてその解決に向けて努力する意思を持ち、チームの一員として課題解決に取り組むことができる能力を身につけさせるための教育を実施する。